

VISIT®

CAR AUTO MULTI-MEDIA AI BOX
ELA-V12
取扱説明書

PHOENIX DESIGN®

輸入元 株式会社 フェニックスデザイン
〒104-0061 東京都中央区銀座 8-18-12

※弊社製品は全て電波法（技適）認証済みです。

全製品はPL保険（生産物賠償責任保険）加入済です。

VISIT®は株式会社フェニックスデザインの登録商標です。



製品仕様

OS : Android 12.0

操作メニュー : 日本語

CPU : Qualcomm Snapdragon 665(SM6125)

Octa-core (4x Cortex-A73 2GHz + 4x Cortex-A53 1.8GHz)

GPU : Adreno 610

メモリ : 8GB LPDDR4X RAM

ストレージ : 128GB UFS STORAGE

動作電圧 : 5V (USBプラグアンドプレイ)

通信方式 : Bluetooth5.0および

Wi-Fi 802.11 ac/b/g/n 2.4G+5GHz

インターフェース :

1*USB Type-C (電源とデータ)

TFカードスロット最大256GB対応

本体サイズ : 93*60*13mm

本体重量 : 62g

技術適合証明番号 : R201-220444

同梱付属品

1. Type-C/Type-C ケーブル



2. Type-A/Type-C ケーブル



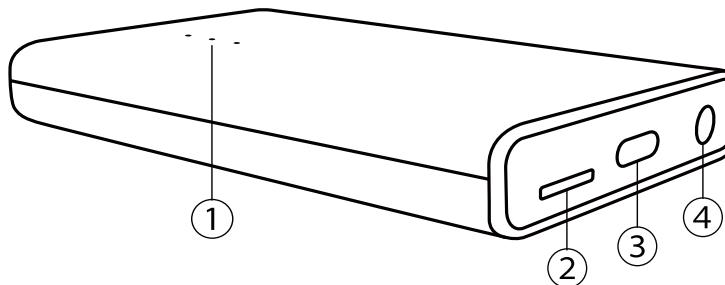
←CarPlay ポートへ

3. USB電源アシストケーブル



5V 電源へ→

※電源安定供給されている場合はUSB電源アシストケーブルを使用する必要はありません。



- ①状態表示 LED ②TF カードスロット
 ③Type-C ソケット ④マイク

LED インジゲーターの色と意味

青 LED	電源状態表示。通電中は点灯します。
緑 LED	アップグレード時に点灯します。アップグレード中は緑 LED が 4 秒に一回点滅します。アップグレード完了後に緑 LED が 0.5 秒に一回点滅します。
赤 LED	システム状態表示。起動時に赤 LED がゆっくり点滅し始めます。徐々に点滅が速くなります。また、アップグレード時は緑 LED と同じように点滅します。

主要な機能の定義



Type-C



LED

	Type-C	出力端子 車両 USB に接続
	LED	システム状態表示

必ずお読みください

- 本体VISIT®ロゴマーク面に保護フィルムが貼ってあります。
- 付属ケーブルのType-C/Type-Cケーブルは専用ケーブルです。市販品のケーブルは使用できません。また、接続できなかったり、安定しない場合はケーブルをVISIT®側から車両側へ入れ替えてみてください。
- プリインストールアプリはデータが古く更新しなければ起動できない場合があります。必ずGoogle Playストアから全て更新してください。
- 一部車両(トヨタ現行ノア、ボクシー、クラウン、ハリアー、レクサス現行NX、LXなど)はUSB電源アシストケーブルを使います。ケーブルに黄色タグがある場合は、黄色タグ側ケーブルをUSB電源に接続します。
片側ケーブルは車両Car Play USBポートに接続します。
注意：別売のUSB Type-A→Type-C変換が必要になる車両も有ります。
- 起動しない場合
ワイヤレスCarPlay対応車両でスマートフォンと車両Bluetooth接続している場合、スマートフォンのペアリング済み詳細設定でCarPlayをオフにしてください。
- 音が出ない、出なくなった場合
ブルートゥースフォンアイコン→マッチングレコードに登録した記憶がないもの(例:GT6-やAGT6-)があったら削除。また診断機器接続状態項目も同上のように確認して削除してください。

VISIT® AI BOX の基本使用方法

車両に合った付属のUSB ケーブルを使用してください。VISIT® AI BOX のLED が点灯、点滅し起動します。初めて接続する場合、画面解像度調整するため再起動しますのでそのままお待ちください。

STEP1 車両のディスプレイがApple CarPlay インターフェイスに切り替わり、VISIT® AI BOXのホーム画面が表示されます。注:新車等でCarPlay USB 入力が未使用時にVISIT®を接続しても認識しない場合はiPhoneを接続して一度CarPlay を立ち上げてからVISIT®を再度接続してください。

STEP2 スマートフォンテザリング接続または車載ルーター/ポケットWi-Fi接続。VISIT®でYouTube などを視聴する場合には上記のインターネット接続が必要になります。Wi-Fi 設定アイコンまたは「設定」→「アンドロイドの設定」→「ネットワークとインターネット」→「Wi-Fi」から接続します。一部キャリアのスマートフォンは「テザリング」の使用設定がされていない場合がありますので、契約している各キャリアにお問い合わせください。

STEP3 Google アカウントGooglePlay Store からログインします。新規または取得済みのID/パスワードを入力してください。

STEP4 これで完了です!お好きなアプリを「Google Play Store」からダウンロードしてお楽しみください。

Bluetooth 接続

BluetoothファンからBluetooth 接続ページに移動しペアリングしてください。

VISIT® AI BOX に外部マウスを使用

Bluetoothワイヤレスマウスが使用できます。

システム画面の切り替え (VISIT® AI BOX ⇄ 純正システム)

純正システムに戻った後、再度VISIT® AI BOX インターフェイスへの戻り方:
車のシステムメニュー「Apple CarPlay」と表示を選択、またはUSBデバイス管理からVISIT® AI BOX インターフェイスに戻ることができます。

VISIT® AI BOX の外部メモリの使用方法

メモリカード(最大256GB まで)をVISIT® AI BOX のメモリーカードソケットに挿入し、ESuper ファイルアプリなどでインストールやオーディオおよびビデオファイルを再生します。

サポートされている形式：

音楽ファイルはWAV、AAC、WMA、AMR、MP3、FLAC など
ビデオファイルはMP4、AVI など

Google マップの操作

マップの拡大縮小はダブルクリックした指を放さず、指を上下にスライドし、縮尺を変更できます。

車両ハンドルボタン

YouTubeなどの対応アプリはハンドルボタン(送りボタン)で動画をスキップさせるなどアプリを簡易コントロールできます。

ホーム画面

各種アイコンを長押ししながら移動、ページ間移動、削除などができます。(削除できないアイコンもあります) また、アプリケーションページからホーム画面へ好みのレイアウトにカスタマイズしてページ数を増やしてお使い頂けます。

サイドバーで Wi-Fi、TF カード、Bluetooth、GPS マークで接続確認やナビ、音楽、ビデオアプリの起動、インストール済みアプリケーションページへリンクできます。

アプリを終了、2画面表示、またホーム画面に戻る場合などタッチアシスタントを使用してください。



- ①ナビアプリ（初期 なし）
 - ②音楽アプリ（初期音楽アプリ）
 - ③アプリケーションボタン：インストール済みアプリ
 - ④ビデオアプリ（初期ビデオアプリ）
 - ⑤ホームボタン：トップページ
 - ⑥リターン：純正システムに戻る
 - ⑦設定：VISIT®詳細設定、アンドロイド設定など
 - ⑧タッチアシスタント：長押しで移動可。ターン、ホーム、ボイス、タスク管理ボタンの展開
 - ⑨クリアランス：タスク（アプリの履歴）の削除
- サイドバー：車両を自動検出し左側または右側に表示します。（変更不可）
タブレットタイプ（縦型）モニターは画面下側に表示します。

アプリケーション画面

アプリケーションボタンまたはホーム画面で上方向にフリックで移行します。
Google Play ストアからインストールしたアプリが表示されます。



設定



カスタムパスの設定



パスにそれぞれ好きなアプリを登録してサイドバー、タッチアシスタントのボイスアイコンから呼び出せます。

オートスタート項目は1～5まであり、アプリ登録すると VISIT®起動時に登録したアプリが順番に自動起動します。

個人設定



ダークモード：ディスプレイの背景を暗い色に変更できます。

自動（初期）・オン・オフ（文字などが見づらくなる場合もあります。）

走行中ビデオ規制：ビデオアプリの走行中制限

Wi-Fi 固定パスワード：パスワードを「12345678」にして接続します。

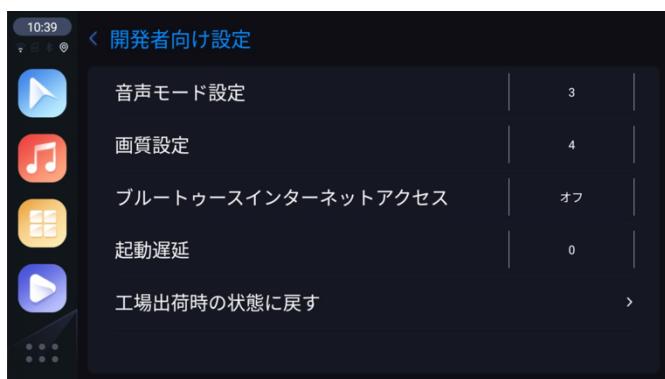
通常はスマートフォンのパスワードを入力するので「オフ」にしてください。

Media volume during IGO map sound mixing：

マップ音声案内時のメディア音量調整

速度単位：km/h、mile/h

開発者向け設定：パス 0789



音声モード設定1～5まであり、設定毎に再起動後反映します。映像と音声のズレは1～5まで一通り確認しズレの少ない番号を選択してください。(徐々に変化しません)

変更後、画質に乱れなどありましたら画質設定1～10を同様に変更してください。

*開発者向け設定は音声や画質に問題がある場合のみ調整してください。

ブルートゥースインターネットアクセス：通常はオフにしてください。

バージョン情報：VISIT®インターフェースに関する情報

GPS情報：2衛星測位システム

言語設定：各種言語設定

アンドロイドの設定：アンドロイドシステムの基本設定

ブルートゥースフォン



スマートフォンの Bluetooth をオンにします。

マッチングから自分のスマートフォンを選択します。

スマートフォン側に GT6-BT-からペアリング許可確認がくるので許可すれば接続できます。

マッチングレコードから接続、接続解除、登録解除ができます。

接続解除後でも次回 VISIT®起動時は接続します。

Car Auto



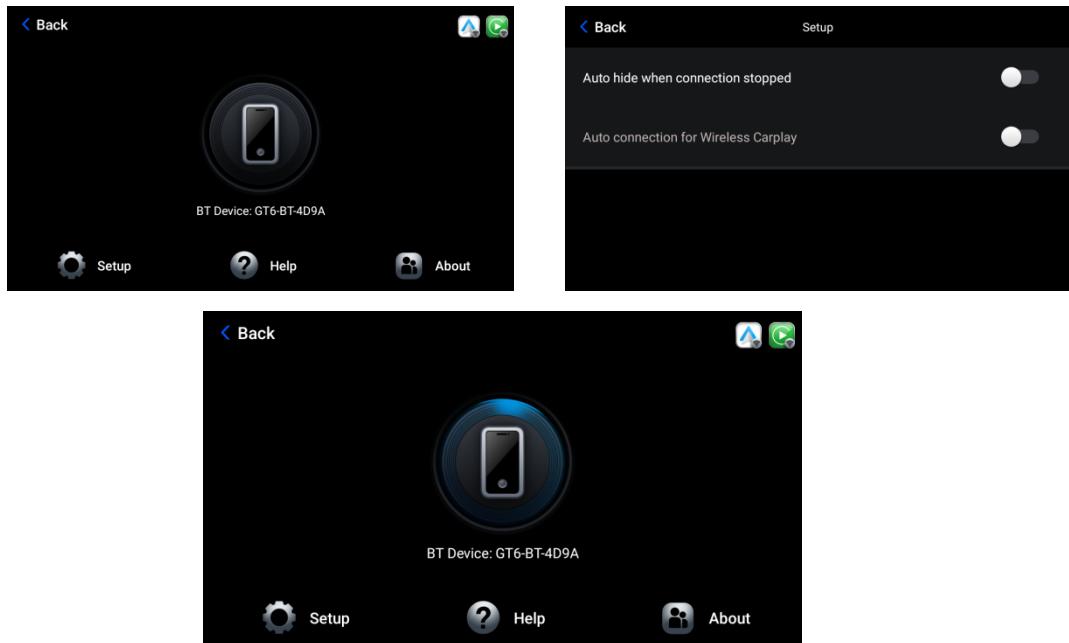
iPhone をワイヤレス Car Play 接続する手順です。

iPhone を VISIT®と Bluetooth 接続します。

VISIT®の Wi-Fi が解除され iPhone はモバイルデータネットワーク（キャリア通信）になります。Setup の2項目は通常オフで使用します。



iPhone→設定→一般→Car Play を開くと AI-Box があるので選択



*ワイヤレス Car Play を終了する時は上記の iPhone の Car Play をオフにします。

Android Auto

Android10以降を搭載したスマートフォンでワイヤレス Car Play 接続する手順です。

スマートフォンを VISIT®と Bluetooth 接続します。

VISIT®の Wi-Fi が解除されスマートフォンはモバイルデータネットワーク（キャリア通信）になります。Car Auto アイコンで数秒後起動します。起動しない場合「Back」で戻り、やり直してください。

*Android Auto はスマートフォンの機種によっては接続が安定しない、接続できない場合がありますが予めご了承ください。

カーレター



スマートフォンをミラーリングします。



スマートフォンと VISIT®の通信が同一回線で使用できます。

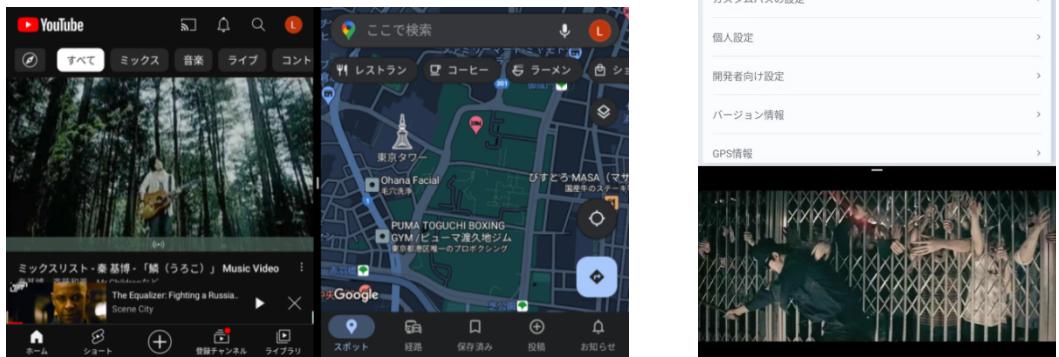


選択するとスマートフォン側ミラーリング画面に「Android_xxxx」と表示します。選択すればミラーリングを開始します。



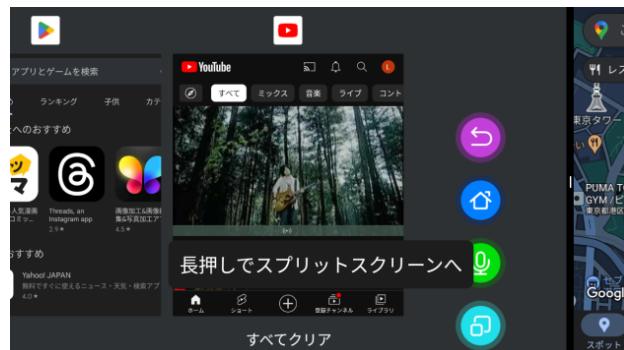
*ワイヤレスミラーリングは、有料動画アプリなどデジタル著作権で保護されている為、再生できないアプリがあります。また、カーレターは一部車種で使用できません。

2画面表示

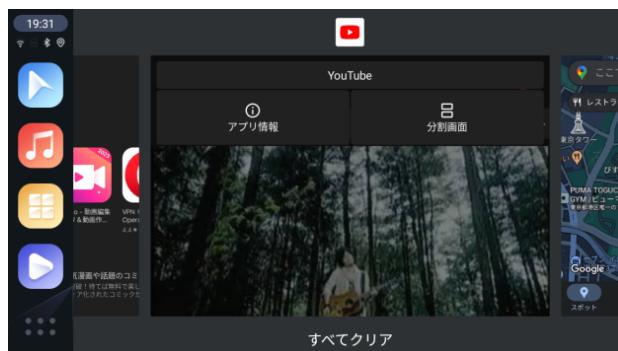


* タブレットタイプ（縦型）モニターは上下に2画面表示します。

 このアイコンを長押しすると下記のように展開するので左側に
YouTube を選択すれば YouTube とマップの2画面表示になります。
タスク（アプリ履歴）が1つ以上なければいけません。

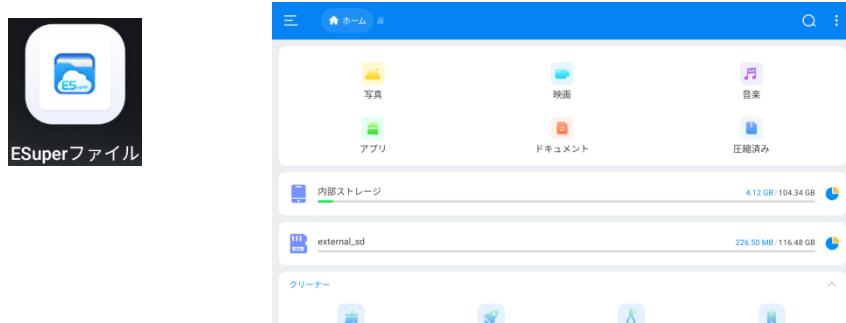


 このアイコンを短押しするとタスク管理が表示されます。
下記の YouTube マークをタッチすると「分割画面」と表示します。
「分割画面」をタッチすると2画面表示になります。



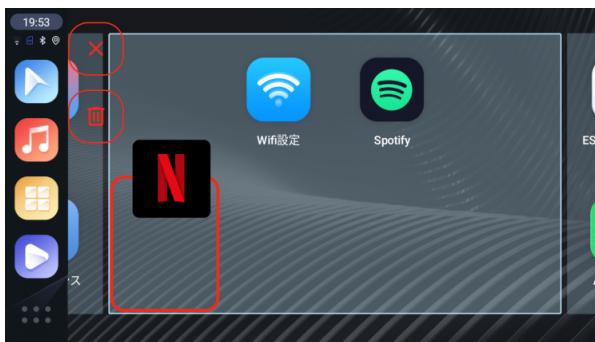
* 「分割画面」と表示されないアプリは、2画面表示はできません。

ESuper ファイル



TF カードから本体に動画や音楽ファイルをコピーなどファイル管理アプリです。

アプリの削除やアンインストール



アプリをドラッグ移動すると×マークやゴミ箱マークが表示します。

×マークはホーム画面から削除、ゴミ箱マークはアプリのアンインストールになります。アンインストールできないアプリはゴミ箱マークが表示しません。また Google Play ストアからもアプリをアンインストールできます。

Bluetooth マウス

診断機器接続状態を選択すると「+ 新しいデバイスとペア設定」があるので選択、マウスをペアリングモードにするとマウス名が表示されるので選択してください。ペアリングモードのやり方は、各マウスで確認してください。

マウスなど接続時に仮想キーボードが表示されない場合は、

VISIT®の設定→アンドロイドの設定→システム→言語と入力→物理キーボード→画面キーボードの表示を ON にして下さい。



本体及び接続関連

1. Google Play ストアの『アプリとデバイスの管理』から定期的にアプリの更新を行ってください。
2. VISIT® AI BOX を使用しない場合は本体を外してください。
3. VISIT® AI BOX とBluetooth 接続済みスマートフォンのアプリ音声が製品仕様上、混線や通話時に遅延することがありますので予めご了承ください。
また車両メーカー、車種によってCar Play 接続時、Bluetooth の優先順位が異なります、この場合、純正側又はVISIT® 側どちらか一方のBluetooth 接続を解除する必要があります。
4. 車両メーカーが提供するWi-Fi サービス経由での接続は容量の問題で動作不安定になりますので必ずスマートフォンテザリングやポケットWi-Fiなどで接続してください。
5. 一部のキャリアではテザリング機能を申請しなければ使用できない環境にありますので、必ずテザリングの使用申請を行ってください。
6. 本体を長時間再生しますと内部のヒートシンク効果の影響で発熱します、夏季はできるだけ直射日光を避ける場所に置いてください。
7. 付属品以外の接続ケーブル及びアダプターの変更及び延長をしますと再生できない場合がございます。
8. タッチパッド仕様車の場合はBluetoothマウス等で一部操作を補いますので予めご了承ください。
9. VISIT® AI BOX はバッテリーを内蔵していない為、VISIT® 起動時に日時がリセットされ、Wi-Fi またはGPS 接続後、自動調整されます。
10. **Car Play や車両データの自動更新により動作が停止する場合がありますので予めご了承ください。**

アプリ関連

1. アプリ側の規制によりデジタル著作権保護などで、インストールや再生ができないアプリがあります。予めご了承ください。
2. リセットオプションから全てのデータ消去（出荷時リセット）を行うと、VISIT® スタートロゴ、いくつかのプリインストールアプリ、追加でインストールしたアプリが消去されますのでご注意ください。
3. TikTok などをインストールするとVISIT®の音量が調整されるようなアプリがあります。その際は、VISIT®の設定→アンドロイドの設定→音→メディアの音量を最大にして下さい。
4. ABEMAアプリでLIVEテレビの音が再生されません。タッチアシスタントからABEMAを2画面表示させます。再生したテレビ画面内右上の画面サイズ(四角マーク)を押した後、画面中央からスワイプし全画面表示させれば視聴できます。
5. spotifyなどのバックグラウンド再生機能があるアプリは、タスクが残ったまま他のアプリを実行すると音声が混線して再生してしまう場合があります。アプリの設定を調整するか、タスクをクリアしてください。

Android13.0バージョンアップサービス

*車両やアプリによっては不具合など起こる可能性があります。予めご了承ください。

アップデートは駐車場など安全な場所でエンジンをかけた状態で行ってください。アップデート中に電源停止やmicroSDを抜かないでください。

バージョンアップ後のVISITバージョンは、

設定→バージョン情報→FrameworkVer : EAUGT6 · · · 20250730

アップデート後はELA-V13になります。次回から下記リンクで取説を参照してください。

[ELA-V13マニュアルダウンロードリンク先](#)

注意：android12からandroid13にバージョンアップした場合、android12バージョンには戻せません。カーレターアプリが対応外になる為、削除されます。またCarAutoアプリ→Setup→Auto connection for Wireless CarPlayがオンになるのでオフにしてください。

アップデート手順

アップデートリンクアドレスをメールなどでパソコンに転送します。

パソコン(Windows)でアップデートファイル(update12.zip)をダウンロードしてください。zipファイルは展開(解凍)しないでください。

ダウンロードしたzipファイルのみをフォーマット済microSDカードに保存します。

VISITを起動しホーム画面表示後、microSDカードを接続します。

「Apply Update」と表示したらOKを選択しインストールが開始されます。約5分後、「Update Complete」と表示したらmicroSDカードを抜いてください。自動で再起動します。

*車両モニターで起動確認できない場合

VISIT本体LEDの緑色で進行状況を確認できます。アップデート中は4秒間隔で点滅し、完了後は点灯になります。microSDカードを抜いてください。自動で再起動します。

[アップデートファイルダウンロードリンク先](#)